

平成 29 年度第 1 回 下関市環境審議会 議事録

日時：平成 30 年 1 月 23 日（火）

10:30～12:00

場所：下関市環境部啓発棟（環境みらい館）
3 階第 1 研修室

1 報告事項（約 1 時間 30 分）

（1）第三次下関市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の原案
について（資料 1）

【主な質疑等】

委員 A：電力排出係数の低減のところだが、これは原発再稼働というのが前提になっており、40%削減目標の半分以上がこれで対応するというのは甘いのではないか。一般廃棄物の関係では、できるだけプラスチックも減らす策を考えてもらいたい。また、下水処理からのバイオガス発電なども視野に入れてもらいたい。

委員 B：下水処理については、CO₂を出している部分を植物工場などで利用できないか等新しいアイデアも必要になってくるのではないか。

事務局：今後、担当部局とともに検討していきたい。

委員 C：公共施設マネジメントで公共施設を削減していく方向で検討しているが市民サービスの低下にならないよう考えてもらいたい。

事務局：施設の統廃合について、それぞれの施設所管課で検討していくことになりませんが、サービス低下にならないよう考慮し結果的に温室効果ガス削減となるよう進めていく必要があると思います。

委員 D：職員の労働時間がエネルギー消費量に関係するので働き方改革等にも配慮してもらいたい。

事務局：検討していきたい。

委員 A：学校施設の屋根貸しをして太陽光発電を行うことや太陽熱の利用なども検討してもらいたい。

事務局：資料の 6 として太陽光発電設備の設置推進モデルというものを示しております。こういった取組も随時考えていきたい。

委員 E：緑化による削減効果とかはどうでしょうか。

事務局：計画原案では、緑化については項目がありませんが、下関市地球温暖化対策地域協議会の取り組みの中で緑のカーテン設置などを推進しております。

(2) 下関市環境基本計画の進行管理について (資料2)

【主な質疑等】

委員B：項目によっては、他の部署と連携して取り組んでいく施策もあると思われるため、関連する課と協力して結果を出してほしい。

事務局：よく連携をとって協議しながら前進させていきたい。

委員A：進捗指標は何種類あるのか。また、成果指標とどう違うのか。

事務局：成果指標が14、進捗指標が43あります。

2つをまとめて環境指標というが、事業・施策の効果の状況を確認するものが、成果指標で事業・施策の進捗を確認するものが進捗指標です。

座長：来年度の夏にこの審議会に進行管理の状況について報告してもらう際には、早めに資料を届けていただくようお願いします。

(3) その他 (資料3、資料4)

【主な質疑等】

座長：「木屋川ダム」については、お話がありましたように方法書までの段階にきているということで、次に準備書段階というのが予定されておりますが、まだ準備書作成中ということです。下関市長の意見として出た「ワカサギ」の件はこの審議会に出た意見を反映されたものだと思います。その後、周辺環境をみておられる方もおられると思いますので次の準備書段階でご意見等をいただければと思います。

座長：昨年度、安岡沖の風力発電事業について何度も審議いたしましたけども、北九州市が非常に大きな規模の洋上風力発電を計画しております。藍島と白島の九州側の海面が対象になっているのですが、下関市からも見えるということで情報提供いただきました。説明にありましたように配慮書段階にあるということで、これから私たちが安岡沖風力発電事業で審議しましたように方法書、準備書段階に進んでいくと思いますので、その折にパブリックコメントにより、一般から意見を求めるという機会もございます。下関から見える大きなそして類似の事業でもありますので、もしそういう情報がありましたら関心を持って場合には、意見等を出すということも含めてご検討いただければと思います。

委員C：川棚クスの森の状況はどうなっているのか。

事務局：今枯れつつあってそれに対する手当てをどうするかということで、市役所の所管は教育委員会になりますが、環境部としては、そのあたりの情報を共有していきたいと考えております。

委員F：川棚クスの森は、教育委員会が対応しており、樹木医にみてもらった。この春に葉がどれくらい付いてくれるかを教育委員会も注視している

状況。

委員C：木屋川ダム流域の白根川上流で大規模な太陽光発電設置による土砂流入についてワカサギなどへの影響を心配している。下関市の方に情報はないのか。

事務局：開発行為について所管している部署と情報共有して対応していきたい。

以上